

溶接管理技術者評価試験案内

〔特別級対象〕

一般社団法人 日本溶接協会
溶接管理技術者認証委員会
溶接管理技術者評価委員会

WES 8103「溶接管理技術者認証基準」に基づく評価試験を次の要領で実施します。

1. 受験条件

申請者は、申請時に下表に示す学歴又は認証に該当する職務経験年数を有する者、あるいは筆記試験合格後、5年以内に下表に示す必要職務経験年数を満足できる者でなければならない。

学 歴 又 は 認 証	等級別の必要職務経験年数		
	特別級	1 級	2 級
① 理工系大学院修了者および理工系大学卒業者	3 (1)	2 (1)	1
② 理工系以外の大学院修了者および大学卒業者	6	4	2
③ 理工系短期大学および工業高等専門学校卒業者	6 (5)	4 (3)	1
④ 理工系各種専門学校および工業高等学校卒業者	—	7	2
⑤ 工業高等学校以外の高等学校卒業者	—	8	4
⑥ 上記学歴によらない場合	—	—	7
⑦ 1 級認証者	3	—	—
⑧ 2 級認証者	—	3	—

注記 1 表中の経験年数は、最小限の必要年数を表す。
注記 2 () 内の数字は溶接専修と見なされる学校に適用する。
注記 3 経験年数は、溶接技術に関連した職務に専従した期間とし、専従でない場合は職務の実態に応じて査定する。
注記 4 経験年数は、学歴については修了及び卒業後、認証については認証取得後の年数とする。
注記 5 ①の理工系大学卒業者は、工業高等専門学校専攻科卒業者を含む。
注記 6 ④の理工系各種専門学校卒業者は、高等学校卒業以上の学歴を有している場合に認められる。

※⑦⑧の各認証者は、該当資格の初回認証後、有効期間を3年以上有する者とする。

2. 受験条件審査

審査は WEB 申込みでの申請内容（受験条件、顔写真、職務経歴）の審査とする。

※ 受験者の経歴及び職務経歴証明は評価試験申込み時点での内容とする。

3. 評価試験

評価試験は筆記試験Ⅰ・Ⅱ及び口述試験とする。

3.1 筆記試験Ⅰ：試験の内容は1級溶接管理技術者評価試験と同一である。1級認証者については、筆記試験Ⅰが免除される。

3.2 筆記試験Ⅱ：試験の内容は次表に示す4つの分野（単位）とする。

分 野(単位)	試 験 の 内 容		試験の種類	解答問題数
材料・溶接性 (略称：M)	低合金鋼、ステンレス鋼、チタン及びチタン合金、 アルミニウム及びアルミニウム合金、耐熱（Ni 基）合金など		選択解答	4 題
設 計 (D)	設計基礎	溶接継手と構造設計の基礎 疲労と疲労設計、破壊力学の基礎	選択解答	4 題
	フレーム系設計	鋼構造設計標準、道路橋示方書 など AWS D1.1 (英文)		
	ベッセル系設計	圧力容器の継手強度と設計 JIS 圧力容器、 ASME Sec.Ⅷ (英文)		
施工・管理 (P)	品質管理一般	溶接関連 ISO 規格	選択解答	4 題
	フレーム系、施工・管理	破壊事例 道路橋示方書、建築工事標準仕様書 JASS 6鉄骨工事 など AWS D1.1 (英文)		
	ベッセル系、施工・管理	破壊事例、ASME 規格 (英文)		
溶接法・機器 (E)	各種溶接法（エレクトロガスアーク溶接、エレクトロスラグ溶接、電子ビーム溶接、 レーザ溶接、プラズマ溶接などを含む） 自動・ロボット溶接 各種切断法		選択解答	4 題

注 1）設計、施工に関連する各種規格は試験の際に関連資料として配布する。

注 2）設計(D)及び施工・管理(P)は、規格(AWS・ASME)問題 2 題の中から必ず 1 題を選択すること(2 題選択不可)。

注 3）試験の際に電卓及び英和辞書を貸与する(持込不可)。

3.3 口述試験：溶接管理技術者認証基準（WES 8103）の 4 項、表 1 の特別級に該当する責務能力、知識及び職務能力を有することを評価するための口述試験を行う。必要職務経験年数を満足する前に筆記試験を合格した場合、職務経験年数が満足した後、口述試験の受験申込みを行う必要がある。

4. 合否判定基準

4.1 筆記試験Ⅰ：全問の総得点が70%以上の受験者を合格とする（1 級筆記試験と同基準）。筆記試験Ⅱに合格し、筆記試験Ⅰに不合格となった者は特別級の合否を保留とし、筆記試験Ⅰの再試験を受験することができる。再試験は2回まで、かつ2年以内とする。

4.2 筆記試験Ⅱ：次の 4 つの単位毎に各問題を採点する。

a) 材料・溶接性（M） b) 設 計（D） c) 施工管理（P） d) 溶接法・機器（E）

(イ) 合否の判定基準：全問の総得点が70%以上で、かつ各問題の得点が40%以上の受験者を筆記試験Ⅱ合格とする。

(ロ) 保留の判定基準：全問の総得点が70%以上あり、得点が40%未満の問題が16問中一つでも含む場合は、その問題を含む分野の単位を保留とする。ただし、筆記試験Ⅰに合格していることが条件である。

4.3 口述試験：受験条件を満足し、筆記試験に合格した者は、口述試験を受けることができる。

口述試験において、十分な責務能力、知識及び職務能力を有すると認められたとき、合格とする。

口述試験不合格の場合、特別級の合否を保留とする。この扱いは単位保留の場合と同じである。

4.4 保留単位の扱い：保留された単位については、該当の単位のみ再試験を受験することができる。

再試験は2年以内に2回まで受験できる。（試験は年2回行われるので最初に保留となった試験を含めて2年間で最大3回の受験となる。）

再試験では、該当する単位の総得点が70%以上で、かつ各問の得点が40%以上を得たとき、その単位を合格とする。再試験の結果、すべての単位が合格したとき、筆記試験Ⅱを合格とする。

5. 特別級及び1 級溶接管理技術者適格性の認証

筆記試験Ⅰ、Ⅱ及び口述試験に合格した場合、特別級溶接管理技術者の認証を受けることができる。

筆記試験Ⅰ及び口述試験に合格した場合、1 級溶接管理技術者の認証を受けることができる。この場合、評価委員会が承認した1 級対象研修会（特別級基礎編研修会）を受講し、有効期限内の修了証書を取得している者は口述試験が原則として免除される。

6. 試験期日・試験時間

6.1 試験期日

- 筆記試験 : 2025年 6月 1日 (日)
- 口述試験 : 2025年 6月28日 (土)

- 6.2 試験時間 特別級 (筆記試験Ⅰ) ; 10:00~12:30 (開場時間 9:15~ 9:45)
特別級 (筆記試験Ⅱ) ; 14:00~17:00 (開場時間 13:15~13:45)

7. 試験会場 (筆記試験)

各会場の詳細は、受験票により追ってご案内します。また、会場は急遽変更となる可能性がありますので、受験票をよくご確認の上、指定会場へお越しください。

受験地	会 場 (予 定)	所 在 地
札 幌	札幌商工会議所北海道経済センター	北海道札幌市中央区北 1 条西 2
東 京	ビジョンセンター東京京橋	東京都中央区京橋 3-7-1
	TKP 新橋カンファレンスセンター	東京都千代田区内幸町 1-3-1
名古屋	名古屋サンスカイルーム	愛知県名古屋市中区錦 1-18-22
大 阪	新梅田研修センター	大阪府大阪市福島区福島 6-22-20
広 島	RCC 文化センター	広島市中区橋本町 5-11
沖 縄	沖縄コンベンションセンター会議棟 B	沖縄県宜野湾市真志喜 4-3-1

※申込み完了後の受験地の変更は受け付けません。また、東京地区の2会場から希望は選択できません。
※受験条件を満足して筆記試験を受験し合格した場合、口述試験の受験地は、筆記試験終了後、受験者に通知する。原則、東京及び大阪で実施し、試験場は受験者自身で選択はできず、筆記試験の受験地を参考に決定する。
※筆記試験合格後に受験条件を満足して口述を受験する場合、次回以降の評価試験で東京及び大阪のいずれかを選択して口述の受験申込みをする。

8. 受験料金

- 8.1 筆記試験 : ① 筆記試験Ⅰ及びⅡ受験 : 30,800円 [税抜金額: 28,000円、消費税額 (10%) : 2,800円]
② 筆記試験Ⅱのみ受験 : 15,400円 [税抜金額: 14,000円、消費税額 (10%) : 1,400円]
- 8.2 口述試験 : 該当者に追って通知します。その際に e-Weld マイページからお支払いください。
① 特別級 口述試験 28,600円 [税抜金額: 26,000円、消費税額 (10%) : 2,600円]
② 1 級 口述試験 26,400円 [税抜金額: 24,000円、消費税額 (10%) : 2,400円]

9. 申込み手続き

- 9.1 2024年度後期以降の溶接管理技術者の各種申込みは WEB 申込みに切り替わりました。WEB 申込みに当協会ホームページからマイページを作成する必要があります。詳細は下記 URL をご確認ください。

溶接管理技術者版 WEB 申込み (WE 版 e-Weld) URL <https://www.jwes.or.jp/e-weld/we>

※紙の申請書は送付いたしません。また、WEB 申込みの代行申請は対応しておりません。

- 9.2 受験申込み手続きの際は以下の事項に留意して作成してください。

- (イ) **お申込みには顔写真データが必要となります。** 正面肩から上、帽子やマスクを外し、白や青等の無地の背景で、鮮明な、証明写真用データ (アップロードから6ヶ月以内のもの) をお使いください。写真が不適切な場合、受験票は発行されません。この写真は会場での受験者確認及び、合格者の内、登録手続を終えた方に発行する適格性証明書の添付写真として使用します。
- (ロ) 受験条件①~③を適用される方は、最終学歴の“卒業証明書”、“卒業証書”、“学位記”のいずれかを PDF・JPEG 等のファイルにデータ化して WEB 申込み時にアップロードしてください。 (日本技術者教育認定機構(JABEE)認定プログラムの修了証書は不可。)
- (ハ) 受験条件⑦を適用される方 (1 級溶接管理技術者の認証取得後、実務経験が3年以上ある方) は、保有する **1 級の資格情報をマイページに登録してください。** (更新審査等を行わずに失効していても、過去に有効な保持期間が3年以上あり、それと同時期の実務経験がある場合は適用範囲内となります。) この場合は証明書類のアップロードは不要です。

- (ニ) 理工系以外の短期大学及び理工系以外の専門学校の卒業者、高等学校卒業程度認定試験の合格者は受験条件⑤に包含されます。
- (ホ) 「職務経歴証明」のページにて受験条件に該当する経歴（受験条件をよく確かめてください）を流れに沿って入力の上、**第三者を証明者として登録**してください。（自己証明は認められません。）勤務先管理マイページをご利用の場合は事前に証明者を登録しておくことも可能です（最大5名）。経歴が2社以上に及ぶときは各社における経歴を同様の様式で記載してください。現所属の証明者が履歴書等で過去の経歴を確認できる場合、第三者の証明印は現所属の証明者のみで構いません。
- (ヘ) 必要職務経歴年数を「満足」する前に「未達」で筆記試験を受験する場合、経歴の入力や卒業証明書等の証明書類のアップロードは不要です。
- (ト) 卒業証明書又は卒業証書、学位記、研修会修了証書の氏名と現在の氏名が異なる場合、それが確認できる公的な書類（戸籍謄本、氏名変更が裏面に記載された運転免許証、氏名変更が表面に記載されたマイナンバーカード等）のデータもアップロードが必要です。

9.3 申込み受付期間

2025年4月1日～2025年5月2日 《申請期限厳守》

（当協会のWEB申込みシステム：溶接管理技術者版 e-Weld から）

※5月2日 23:59までの期限内に全ての申込み手続きを完了する必要があります。一時保存状態や画面操作中に期限を超えた場合、申し込みは一切受け付けられません。

9.4 申込みに関する問合せ先：

一般社団法人 日本溶接協会 溶接管理技術者 評価試験事務局

〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町4-20 電話番号：03-5823-6325

9.5 身体的障害等による理由から、当日の受験に不安のある方は事前に事務局までご連絡ください。

9.6 その他ご不明な点があれば、日本溶接協会 溶接管理技術者ホームページをご確認ください。

10. 受験票の送付について

「受験票」は、2025年5月23日に発送予定です。「受験票」は記載内容をあらかじめ確認し、当日必ずご持参ください。

11. 受験定員

11.1 受験定員は、各試験会場の収容可能人数とします。

11.2 定員に達した場合は申請締切日以前でも受付を停止します。

12. 申込みの取消について

原則として**申込み完了後のキャンセルは受け付けません**。支払われた受験料金についても、返還しません。よく確認の上でお申込みください。

13. 合格者の発表と登録手続

13.1 評価試験の合否は、2025年7月15日に受験票と同じ送付先へ郵送、及び2025年7月16日正午にご作成いただいたマイページにて通知いたします。

電話等による合否の問い合わせにはお答えできません。なお、判定に不服のある場合は、所定の手続きに従って、合否通知書の発送から30日以内に異議申立てをすることができます。

13.2 合格者は13.1項の通知を受けた後、2025年7月29日までにご作成いただいたマイページから登録に必要な手続きを行い、登録料19,800円〔税抜金額：18,000円、消費税額（10%）：1,800円〕をお支払いください。

13.3 13.2項の手続きを怠った場合、受験申請に虚偽の記載をした場合、または受験に際して不正行為があったと認めた場合には合格を取り消します。

14. インボイス対応領収書の発行について

受験料及び登録料のお支払いに対する領収書は、ご作成いただいたマイページの『領収証の発行』からダウンロードすることができます。【日本溶接協会 登録番号：T5010005004461】